

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】令和 3 年 4 月 1 日 (2021.4.1)

【公開番号】特開 2019-180148 (P2019-180148A)
【公開日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)
【年通号数】公開・登録公報 2019-042
【出願番号】特願 2018-68097 (P2018-68097)
【国際特許分類】

H 0 2 K 33/16 (2006.01)

B 0 6 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 33/16 A

B 0 6 B 1/04 S

【手続補正書】
【提出日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 7】

前記接続体は、粘弾性部材であって、前記第 1 プレートと前記可動体とが前記第 1 方向で対向する個所、および前記第 2 プレートと前記可動体とが前記第 1 方向で対向する個所の各々に設けられていることを特徴とする請求項 2 から 6 までの何れか一項に記載のアクチュエータ。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 3
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 3】

本発明において、前記接続体は、粘弾性部材であって、前記第 1 プレートと前記可動体とが前記第 1 方向で対向する個所、および前記第 2 プレートと前記可動体とが前記第 1 方向で対向する個所の各々に設けられている態様を採用することができる。かかる態様によれば、接続体は、厚さ方向（第 1 方向）と交差する方向（せん断方向）に変形するため、非線形の成分（バネ係数）よりも線形の成分（バネ係数）が大きい変形特性を発揮する。このため、入力信号に対する振動加速度の再現性を向上させることができるので、微妙なニュアンスをもつ振動を実現することができる。